



全力結集で挑戦し、
未来を創る

6回シリーズで紹介

生産振興の取り組み
11月21日(木)掲載

スマート農業
12月6日(金)掲載

技術開発

元気な地域社会づくり
1月9日(木)掲載予定

物流改善
1月23日(木)掲載予定

需要に応じ販売力強化
2月6日(木)掲載予定

生産性向上を支える技術開発

JA全農は急速に変化する事業環境に対応するため、5年後、10年後を見据えて取り組みます。

飼料畜産中央研究所

畜産農家の経営を
革新的な商品や技術で支える

- 鶏の能力を最大化する養鶏飼料の開発
- おいさと生産性に優れた種豚や飼料の開発と普及
- ICT機器による和牛・乳牛の生産性向上・省力化技術や低コスト飼育体系・飼料の開発
- ゲノム解析を活用した素畜改良
- 飼料や原料等の栄養成分の新しい分析法の開発



家畜衛生研究所

家畜の疾病対策で
農家手取りを最大化

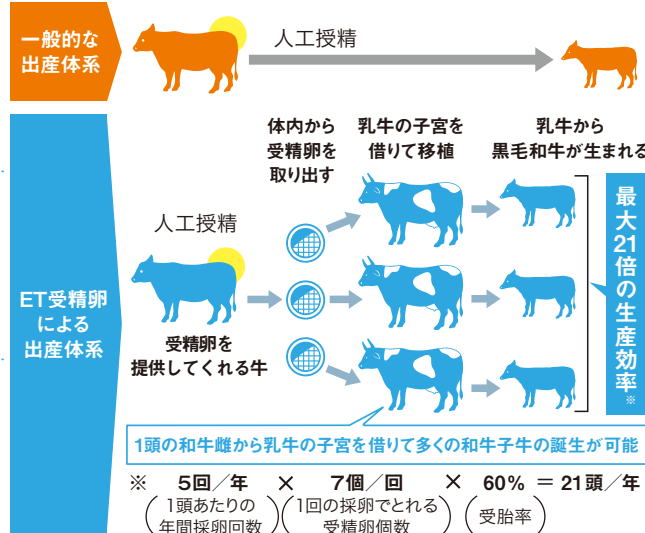
- ワクチンや混合飼料等の商品開発と疾病の基礎研究
- 家畜の衛生検査とそれにもとづく生産指導
- 家畜の衛生検査機関としては全国一の規模となる、年間約20万検体の検査を実施



ET研究所

日本の財産、和牛の増産に向けて

- 早くからET(Embryo Transfer)に取り組み、世界有数の技術を誇る
- 年間2万5500個の受精卵と1,100頭のET妊娠牛を全国に供給
- ETのプロを養成する専門コースを設け、若い研修生に技術を伝える



営農・技術センター

農業技術の研究・開発で
生産者の所得向上に貢献

- 品種開発や栽培技術の開発など、生産性向上に向けた技術開発
- 土壌分析や農家向け資材の開発
- 農薬の開発やIPM(総合的病害虫・雑草管理)の普及、残留農薬検査の実施
- 青果物用段ボール箱、ハウス用ビニール等の品質管理や、生産資材の開発
- JAグループ職員対象の営農や資材等に関する講習会を開催(受講者累計14万人)

